

理事長あいさつ

理事長 船越 昇

センターを舞台に楽しもう

明けましておめでとうございます。

お蔭でセンターの事業は昨年も順調に推移しました。会員のみなさまを始め、関係者のご協力のおかげであると心から感謝しています。

本業の受託事業では、個人・家庭からの注文の増加が目立ちました。会員の誠実な仕事ぶりが住民に評価され、口伝えで発注者を増やしているようです。地域に役立つというセンターの目標が実現されていると喜んでいますが、ただ、植木の剪定や草引草刈ができる会員が少なく、お客様に不便を掛けているケースも散見されます。会員の高齢化も進んでいるので、剪定、草引草刈ができる会員の増加、養成を急がなければなりません。

私たちのセンターは府内の中でも活発に活動しているセンターの一つだと自負しています。秋の文化展は毎年充実してきていますし、「シルバーサロン」や「ふるさと案内人」の事業も軌道に乗ってきました。新しく取り組んでいる子育て支援事業にも参加希望の会員がふえています。センターで生きがいを見つけ、友達を増やし、地域に貢献しようという会員の積極的な意欲が、センターを元気付けているのだと見ています。

補助金の削減、受注競争の激化など、センターを取り巻く環境は年々厳しくなっています。しかし、会員のみなさんがセンターを大事にする気持ちを持ち続けていただける限り、苦境は克服できると確信しています。今年一年もセンターを舞台にして、仕事に、遊びに、大いに楽しみましょう。

町長あいさつ

町長 木村 要

三世代が支え合うまちづくり

明けましておめでとうございます。

平素は、本町の行政推進に、とりわけ福祉行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。社団法人 精華町シルバー人材センターは、年を重ねるごとに事業拡大に努められて順調に成長されているようで、大変喜んでおります。

昨年10月の町長選挙では皆様方のお力添えをいただきましてありがとうございました。この場をお借りして厚くお礼申し上げますと同時に、責任の重大さを痛感しております。今後も引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

かねがね私は、三世代が支え合う安全・安心のまちと、恵まれた学研都市の「人・物・お金・情報」を生かして元気なまちをつくり、ふるさとは“ここ(精華町)”と誇れるまちを築きあげたいと願っています。とりわけ「三世代が支え合うまちづくり」は自治体だけでの努力では実現は難しく、家族、地域、自治体それぞれの取り組みがうまくかみ合わなければ成果は期待できません。施策実現にシルバー人材センターの存在を大変心強く思っています。センターでは、すでに放課後児童クラブへの参画を通じて世代間交流を実現されており、その行動力に敬意を表しています。

行財政改革を通じて地域力向上に努めていますが、急速に発展したわがまちも財政事情は厳しく、債務の償還に全力をあげつつ住民生活に直結している福祉、医療、保健施策でさえ、ある程度の我慢をお願いしなければならない状況にあります。シルバー人材センターに対しても充分なご支援はむつかしいとは思いますが、仕事の発注などで出来るだけの応援をさせていただき、少しでもみなさまの健康と生きがいにつながればと願っています。

結びに、シルバー人材センターのますますの発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたします。

理事会等のうごき

平成19年度第3回理事会

平成19年11月28日(水)午後1時30分～3時
第9号議案 正会員入会申込者の専決処分の承認について
同議案を可決しました。